

環境共生住宅推奨部品 部品紹介



高機能ガラスフィルムで省エネ

株式会社サンゲツ

部品分類	遮熱（日射調整）フィルム/断熱（低放射）フィルム	省エネ対策(遮熱/断熱) 暖房が効きづらい寒い冬、 室内の暖気も逃げやすい
部品の概要・特徴	・夏は日射を遮り、室内の温度上昇を抑え、冬は室内の暖気を窓から逃がさず温かさを保つガラスフィルムです。 ・年間を通じて省エネ効果が期待できます。 ・ガラス飛散防止効果、UV カット効果も付与されています。	
適用範囲	■新築 ■リフォーム	
部品の紹介URL	https://www.sangetsu.co.jp/newproduct/cleas/function/low_emissivity_film.html#sec01	

【部品の特長】

夏冬どちらも省エネ効果が期待できる最新の高機能ガラスフィルムです。

遮熱効果を示す「遮蔽係数：0.59」断熱効果を示す「熱還流率：4.5W/m² K」

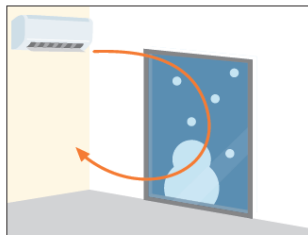
特にフロートガラスにお勧めです。

解決 夏は透明遮熱フィルムと同様に外からの熱をさえぎり、
冬は室内の暖気を窓から逃がさず、室内の暖かさを保ちます。

夏は日射を遮り、冬は室内の暖気を窓から逃がさず、年間を通じて省エネ効果が期待できます。

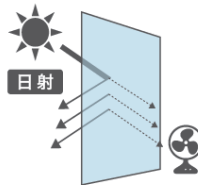
低放射フィルム

推奨品番 エコリム 70 (GF1206)



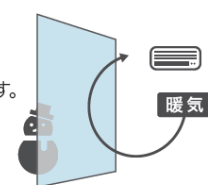
夏

外からの熱を
カットします。



冬

室内の暖気を
逃がしにくいです。



高機能フィルムによるランニングのCO₂排出削減効果を試算することができます。

シミュレーション例

ランニングの
CO₂ 排出削減効果

毎年 **1.3t**



※植物は一般的にCO₂(二酸化炭素)を吸って酸素を吐き出します。杉の木1本(杉の木は50年杉で、
高さが約20～30m)当たり1年間に平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとして試算しています。
出典：「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境庁・林野庁

試算条件

場所：東京都品川区オフィス
(約330坪)
冷房：6月～9月 設定温度22℃
暖房：11月～2月 設定温度28℃
施工面積：南面120㎡、北面24㎡
品番：GF1206
(低放射フィルム エコリム 70)

推奨基準への 対応	I.省エネルギー・脱炭素化	○	VII.室内環境の汚染防止	○
	II.省資源		VIII.ユーザーのニーズに応える質の水や空気の提供	
	III.耐久性	○	IX.ユーザーのニーズに応える安心・安全の提供	○
	IV.3Rの推進	○	X.自然・天然素材の活用	
	V.地球環境の汚染防止		XI.レジリエンスの向上	○
	VI.地域環境の汚染防止			
部品に関する 連絡先	株式会社サンゲツ フィルム事業室 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-6 日比谷パークフロント 12 階 TEL：03-3474-1245			

一般社団法人 環境共生まちづくり協会

※環境共生住宅推奨部品は、一般社団法人 環境共生まちづくり協会が一定の基準に従って推奨している部品です。
※製品の掲載情報については、製品を製造・供給・販売等を行う企業に帰属します。